

水戸市告示第 350 号

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により，水道事業及び下水道事業の業務状況（令和 4 年 4 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日）を別紙のとおり公表する。

令和 4 年 11 月 1 日

水戸市長 高 橋 靖

水戸市水道事業業務状況説明書

(令和4年度 上半期)

自 令和4年4月 1日  
至 令和4年9月30日

1 令和4年度上半期（令和4年4月1日～令和4年9月30日）の業務状況

(1) 事業の概況について

給水件数	14万1,894件（令和4年9月30日現在）
給水人口	26万7,876人（令和4年9月30日現在）
上半期総配水量	16,252,954 m <sup>3</sup>
1日平均配水量	88,814 m <sup>3</sup>

(2) 予算の執行状況について

収益的収支（給水などの営業関係収支）については、収入率が45.7%、支出率が20.2%となっており、主な収入は水道料金で、収入の96.4%を占めています。

資本的収支（設備投資の収支）は、収入率が1.1%、支出率が24.0%となっており、主な収入は工事負担金で、主な支出は建設改良費及び企業債償還金です。

執行状況については、次のとおりです。

（消費税及び地方消費税込）

区 分		予 算 額	執 行 済 額	執 行 率
収益的	収入	64億 591万 9千円	29億 3,014万 円	45.7%
	支出	55億 748万 9千円	11億 1,112万 8千円	20.2%
資本的	収入	33億 5,525万 5千円	3,617万 7千円	1.1%
	支出	60億 9,289万 4千円	14億 6,271万 5千円	24.0%

(3) 企業債の状況について

水道事業会計の企業債残高は200億1,949万5,481円であり、借入先区分別残高としては、財務省が41億4,156万7,613円（20.7%）、地方公共団体金融機構が153億8,792万7,868円（76.9%）、銀行等が4億9,000万円（2.4%）となっておりま

す。

2 令和3年度決算の状況について

(1) 収入及び支出の状況について

収益的収支につきましては、事業収益6,064,765,139円（消費税及び地方消費税込6,616,634,310円）、事業費用5,285,759,807円（消費税及び地方消費税込5,674,490,919円）で差引779,005,332円（消費税及び地方消費税込942,143,391円）の純利益となり、当年度未処分利益剰余金は779,005,332円となりました。

資本的収支（消費税及び地方消費税込）につきましては、収入額1,804,786,233円、支出額4,107,093,416円となり、収入額が支出額に不足する額2,302,307,183円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

(2) 企業債の現在高

区 分	現 在 高
水 道 事 業 会 計	208億 83万 1千円

水戸市下水道事業業務状況説明書

(令和4年度 上半期)

自 令和4年4月 1日  
至 令和4年9月30日

1 令和4年度上半期（令和4年4月1日～令和4年9月30日）の業務状況

(1) 事業の概況について

水洗化件数 9万3,253件（令和4年9月30日現在）  
 水洗化人口 19万30人（令和4年9月30日現在）

(2) 予算の執行状況について

収益的収支（汚水の処理などの事業活動における収支）については、収入率が47.0%、支出率が14.7%となっており、主な収入は下水道使用料で、収入の42.8%を占めています。

資本的収支（下水道施設の建設などにおける収支）は、収入率が18.8%、支出率が31.1%となっており、主な収入は企業債及び一般会計からの繰入金で、支出の主なものは建設改良費及び企業債償還金となっています。

執行状況については、次のとおりです。

（消費税及び地方消費税込）

区 分		予 算 額	執 行 済 額	執行率
収益的	収入	89億6,213万4千円	42億1,449万5千円	47.0%
	支出	87億1,578万円	12億7,763万3千円	14.7%
資本的	収入	65億3,056万3千円	12億2,642万9千円	18.8%
	支出	106億5,442万2千円	33億1,103万4千円	31.1%

(3) 企業債の状況について

下水道事業会計の企業債残高は679億5,751万2,650円であり、借入先区分別残高としては、財務省が239億3,656万8,241円（35.2%）、地方公共団体金融機構が389億6,954万4,409円（57.3%）、銀行等が50億5,140万円（7.5%）となっています。

2 令和3年度の決算状況について

(1) 収入及び支出の状況について

収益的収支につきましては、事業収益8,550,370,305円（消費税及び地方消費税込8,876,786,243円）、事業費用8,309,379,815円（消費税及び地方消費税込8,474,766,853円）で差引240,990,490円（消費税及び地方消費税込402,019,390円）の純利益となり、当年度未処分利益剰余金は240,990,490円となりました。

資本的収支（消費税及び地方消費税込）につきましては、収入額5,525,753,382円、支出額は9,616,795,818円となり、収入額が支出額に不足する額4,091,042,436円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

(2) 企業債の現在高

区 分	現 在 高
下 水 道 事 業 会 計	708億5,230万円